

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 5年 3月 10日

事業所名 ナチュラルこどもハウス東中浜店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			現在の時点で、まだ児童数も少ないため、広々と活用でき十分なスペースが確保されていて手厚く療育ができており、動線も困っていない。
	2	職員の配置数は適切である	3			今後も専門職・経験者・有資格者の配置を検討していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3			・玄関に一段大きな段差はあるが室内には障害物等なく、見渡しよく過ごせるようになっている。 ・動線も考え配置ができています。 ・ジョイントマットで空間を仕切り視覚的にも活動スペースが明確である。玄関の段差以外は全てフラットで配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3			・常に清潔に過ごせるよう心掛けている。 ・毎日の清掃・消毒はかかさず行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3			・ねらいや振り返りを必ず毎日行っている。・朝のミーティングや引継ぎノート・空き時間での話し合いを通して常に業務改善を進めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			今年度より評価表を集計し、職員全体振り返りを行うことで業務改善に繋がっていきます。評価にあるご意見やご要望などについては、今後どのように改善していくか迅速に職員間で話し合い、内容を共有し取り組めるようにしていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			今年度よりHPで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1		・指導があった場合はすぐに改善している。 ・第三者による評価は受けていません。導入について、改善課題とします。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			・外部研修や社内研修を行っている。 ・外部研修は希望すると参加出来たり新人研修等の機会はある。 ・訓練スケジュールのあるものを現在もうけている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3			・アセスメントはもちろん日々の保護者様との引継ぎ時に情報共有できている。 ・モニタリングとともにアセスメントを行ったり日々の送迎の際に保護者様のニーズは確認している。 ・お子様と保護者様のニーズや課題は職員間で共有・話し合い・分析を行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			資料を参考に事業所で作成したアセスメント様式を活用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			児童に必要な一人ひとりの課題に応じた支援項目を選択し、具体的に支援内容を設定しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3			・計画書を常に全職員が見えるようにファイリングして保管している。 ・日頃のレクリエーションのねらいや目標は常に計画を踏まえて設定している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3			・日々相談しながら行っている。 ・4日前にはレク案を作成し、全職員に確認してもらえている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3			・プログラムが続いたり同じ曜日行わないようにしている。 ・カレンダーに〇日に何をするか記入し、固定化されないよう全員が確認できるようにしている。・共有カレンダーで活動内容が重複しないように活動内容が決まり次第書き込んでいる。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3			個々の成長に応じ、・集団活動での目的とその中での個別での課題や支援の方法等組み合わせながら考慮し作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		療育開始前後決まった時間に職員間でミーティングを行い、その日の活動や職員の動き、個々の状態に合わせた支援内容を活動案として共有し、内容はいつでも振り返られるよう保管している。気づいたことや改善点はすぐに伝え合える環境で送り送りやその他次に繋げられるよう反省している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3			
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		主に児童発達支援管理責任者・担当職員・管理者などが出席しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1	今後、必要に応じて関係機関からの問い合わせなど情報共有し関係機関との連携に努めてまいります。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在、医療的ケアを必要とする児童はいませんが関係機関との連携は必要だと認識しています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3			送迎児童の園では現在積極的に行っています。今後可能な限り支援内容を開示し共有理解を図っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	研修には積極的に参加し助言していただける機会を確保しより良い支援につなげていきます。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3	現状までコロナ渦ということもできていませんが、保護者様のご意向を踏まえて交流の機会には参加したいと思います。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3	各区の主催している連絡会に今後も積極的に参加していきます。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		連絡帳や送迎時に療育の内容やその日のお子様の様子を伝え必要に応じて保護者様からの相談をお聞きしたり、事業所での様子や課題についてお話しする場を設けています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	2	・送迎の際に相談等で様々な方法を伝えることもある。 ・今後スキルアップを図り、ご家族への支援の拡充を行ってきたいと考えております。		
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		見学时・契約時に口頭と書面で丁寧に説明を行うよう心掛けています。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3		支援計画は保護者に確認して頂き同意を得ています。(定期的にモニタリングを実施し支援内容の説明をしています)		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		常時、保護者様からの相談を受け付けて丁寧に対応するように努めています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		先日初めて開催し良い反応をいただいた。ご意向を確認し、今後も保護者方々が連携や、意見交換ができる機会を提供していきたいと思います。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3		・相談窓口を設置し保護者様にも契約の際にお伝えしている。 ・相談内容に応じて早い回答、適切に対応できるように努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		・毎月、活動の様子としてお写真を添えて個別に発行し行事予定などお便りを通して発信しています。 ・SNSを使い活動概要も発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3		個々にファイリングし、鍵のあるロッカーで厳重に管理しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		・日々コミュニケーションをとりながら(言葉使い・伝え方等気を付けている)情報を伝達しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3		今後検討し地域とのつながりを作りたいと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		各種マニュアルの策定しました、職員全員でマニュアルに沿ったシミュレーション・訓練を行っています。全てのマニュアルを保護者へ配布し周知していないため今後対応していきます。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		児童含め月1回避難訓練を実施しています。定期的に非常避難用の道具や、備蓄品の確認を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3		服薬が必要な際はお薬札を提出して頂き必要に応じて聞き取りを行っています。喫約の際にも確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		アレルギーがある場合は保護者様から詳細を確認しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	職員全体で共有活動出来ていない為、強化に努めていきます。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1	外部での虐待研修に参加し、社内研修で全職員が参加し、共通意識に努めています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			3	対象児童はおられません。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。